

オムロン株式会社 2022年度決算
投資家様向けウェブ・電話説明会 質疑応答（サマリー）
（2023年4月26日）

<IAB : 計画・受注動向>

Q : 売上計画の増収（前年比+1%）の背景を教えてください。

A : FA 市場全体では、前年比で若干マイナス傾向とみている。そのような環境下においても、我々は、受注残に加え、注力業界での成長、いわば投資が好調な業界でのシェアを獲得することで、+1%増を見通している。

Q : FY23の受注は、下期にどの程度回復が見込めているのか教えてください。

A : 下期に急激に回復するのではなく、上期から年度末にかけて、段階的に回復していくと見込んでいる。最終的には、FY22の上期水準まで緩やかに戻ってくると見ている。

<IAB : ソリューションビジネス>

Q : i-Automation!採用顧客数の拡大の背景を教えてください。

A : 我々の注力業界はモノ作りに大きな変化が起こっている。例えば、半導体や二次電池、食品における包装材の変化など。これらの課題に対してお客様に提供できる革新アプリが増加していることが、顧客数拡大のドライバーとなっている。革新アプリをより多くのお客様に届けることで、モノづくり革新へ貢献し、顧客数の拡大にも繋がっていく。

Q : ソリューションビジネス拡大に伴い、営業利益率は FY16 比で +2.5%改善しているが、現在の利益率をどう評価しているのか？ 今後、もっと利益率が高まってくとみているのか？

A : ソリューションビジネスの拡大により着実に収益性は高まっている。一方で、この2年間は部材・物流費の高騰や人件費上昇の影響により、IAB全体の利益率に対する貢献度は十分ではない。今後、それら外的要因の改善に取り組むことにより、ソリューションビジネスの拡大による利益率の向上が進んでいく。